

第1回香美市社会教育委員会議事録

日時 令和5年5月29日(月)14時00分～

場所 中央公民館2F

参加者 佐々木委員長、内田副委員長、中越氏(市原委員代理)、上村委員、近藤委員、濱崎委員、宮地委員、中山次長、黍原生涯学習振興課長、依光公民館長、正木推進官、濱田推進官、宇根文化班長、影山スポーツ班長

宇根班長

それでは定刻となりましたので、これから令和5年度第1回香美市社会教育委員会を開会とさせていただきます。本日はお忙しい中、お越しいただいてありがとうございます。私は事務局を担当します生涯学習振興課の宇根と申します。よろしくお願いいたします。会の開会にあたりまして教育次長の中山より一言ご挨拶を申し上げます。次長、お願いします。

(中山教育次長 挨拶)

宇根班長

事務局の異動と、新しく委員さんになられた方がいらっしゃいますので自己紹介の時間をいただければと思います。まず、事務局から始めさせていただきます。

影山班長

生涯学習振興課スポーツ班の影山と申します。私は引き続きということになりますけれども、みなさんよろしくお願いいたします。

依光館長

香美市立中央公民館 館長の依光と申します。よろしくお願いいたします。

正木推進官

昨年度は山田高校で大変お世話になりました。ありがとうございました。今年度からは、香美市生涯学習振興課の推進官として働くことになりました。微力ではありますが、香美市の教育振興のために頑張っております。よろしくお願いいたします。

濱田推進官

ご無沙汰しておりました。みなさまにこのような場でまたお目にかかることができました。前山田高校校長の正木さんと一緒にこの春から生涯学習振興課の推進官として勤務させていただくことになりました。後で説明させていただきますが、二人は特に生涯学習フォーラムの主担当としてさせていただいておりますので、どうぞお力添えのほど、よろしくお願いいたします。

中山教育次長

改めまして、教育次長の中山でございます。よろしくお願いいたします。

黍原課長

生涯学習振興課長で 5 年目になりました黍原です。私と中山君は同じ年で誕生日も一週間も違ってなくて、たぶん同じ病院で生まれてベビーベッドが並んであった時期が 3 日くらいはあったんじゃないかと思う感じです。ですので、私はもう中山次長に頼りっぱなしになると思いますが、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

上村委員

大栃中学校の校長の上村です。この会は、立場を変えて一回だけ参加したことがあるんですけど、本当に久しぶりの会になります。今回は、校長会会長という立場で出席させていただきます。よろしくお願いいたします。

宮地委員

香美市文化協会会長の宮地です。よろしくお願いいたします。

内田副委員長

高知大学の内田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私、この 4 か月で 10 キロほど体重を落としまして、誰も心配してくれないなど・・・

佐々木委員長

三宝荘の施設長の佐々木です。中央公民館で館長を 2 年間務めまして、それ以降お世話になっております。よろしくお願いいたします。

中越氏

山田高校の副校長をしております中越と申します。今日は市原校長の代わりに出席をしております。よろしくお願いいたします。

近藤委員

NPO 法人いなかみの近藤と申します。よろしくお願いいたします。

濱崎委員

トリを務めさせていただきます。公募委員の濱崎です。NPO 法人かみっこベースの事務局長をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

宇根班長

ありがとうございました。本日は欠席となっておりますが学校運営協議会から永野委、体育協会から楮佐古委員、県立大学法人本部から福田委員、美良布地区公民館長 濱口委員、香美市立教育研究所から信崎委員がいらっしゃいますのご報告させていただきます。

それではまず初めに本会議の成立についてご報告をさせていただきます。本日、全委員

12名中7名のご出席をいただいておりますので、過半数の出席があり香美市社会教育委員会運営規則第3条に規定する会議成立の定足数を満たしていることをご報告いたします。

それでは、香美市社会教育委員会運営規則第1条第3項の規定によりまして、ここからの議事を佐々木委員長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

佐々木委員長

はい、みなさんよろしくお願ひいたします。

まず、議事1番の香美市の生涯スポーツのあり方について～部活動の地域移行を見据えて～というところを、事務局から説明をお願いします。

影山班長

着座にて説明させていただきます。資料の議事1、香美市の生涯スポーツのあり方について～部活動の地域移行を見据えて～をご覧ください。香美市のよってたかってアンケートということで、前回の会でもお示ししましたけれども、スポーツについて注目して見ていただきたいと思います。生涯スポーツの充実ということで、重要度低い、満足度低い、というなかなか厳しい意見をアンケートでは市民の方からもらっているような状況であります。

次のページを見ていただくとわかるように、利用したことがあるというのが各施設とも少ないという状況です。次のスポーツについても、ほとんど運動する習慣がない、興味のあるスポーツは簡単なウォーキングとかストレッチには興味があるけれど、なかなか市民のみなさんは運動することがないという状況がアンケートによってわかりました。実際どうなのかというところですが、アンケートはこのような結果ではありますが、昨年10月から香美市の体育施設につきましては施設予約システムという、スマホやパソコンから予約をとれるようにはなっております。コロナの関係もありますので、一概には言えませんが、施設使用登録者数の推移ということで、令和3年度、コロナの真っ只中と比べてもどうかということもありますが、令和5年5月22日現在ですでに201団体が登録をさせていただいております。3年度4年度と比べても5月末の段階でそれ以上の方が施設を利用したいということで手を挙げていただいている、登録をしてくださっているということになります。

実際どうなのかというところですが、本日の施設の予約状況をご覧ください。左側に施設名、その右側に○×がありますが、×は誰かが使いたいということで予約を入れているということになります。学校施設につきましては、本日休みのところもありますが、授業時間以外となりますので、夕方からの使用になりました。それも見てわかるように、結構な施設、みなさん借りたいということで利用をされているということになります。アンケートではあまり重要ではない、満足度も低いということにはなっておりますけれども、数字だけ見ると、利用者数も登録者数も増えており、施設もなかなか埋まっている状況ということになりますので、実際は一部の方ということになるかもしれませんが、運動の好きな一部の方たちが利用しているだけではありますが、決して施設が遊んでいるとかそういうことではない、ということにはなります。他の美術館とかと違うところといいますと、例えば山田の体育館を2時間使いたいとなったら、一人の方でも20の方でも2時間使うにはその施設を押さえられてしまうわけですので、他の方が使えないと。一人が押さえた

だけでも他の人が使えない、100人が押さえても他の人が使えないということにはなりませんので、なかなかまいこと隙間なく施設を埋めていっても香美市民全員が使えるというのはなかなか難しいのかな、体育施設に関してはということです。

続きまして、生涯スポーツ、昨今言われております部活動の地域移行についてですけれども、新聞やテレビでも中学校の部活動を先生たちの働き方改革も含めて、地域の方に見てもらえるように地域に下ろしていこうというお話があったと思います。香美市も地域移行に向けて、協議会を立ち上げてお話をしていたところですが、昨年度末に国からこのままだと地域移行は難しいのではないかとということで若干トーンダウンしているというか。それまでは、期間を決めて令和7年度までに地域移行しなさいというかたちだったのが、期間を設けずできることからというニュアンスに移り変わっております。

次に、学校部活動・地域連携・地域移行のイメージ図をご覧ください。これは高知県から担当者会の時に配られた資料です。子どもの選択肢を広げる取組を進めるということで、左部分に関しましては学校の先生が部活動を見るイメージでしたが、これからは右の部分の地域クラブ等での活動、スポーツ少年団とか総合型地域クラブ（香美市にはない）に見ていただくというイメージです。子どもたちの選択肢を広げるということで、いろんなところを考えながら地域移行を進めていってくださいということで、左側に関しましては今までとあまり変わらないようなイメージの図になっております。

実際香美市の中学校の部活動はどうだろうかということで、次の資料をご覧ください。中学校部活動と市内スポーツ団体という資料になります。協議名とそれぞれの中学校、香美市の体育協会という協会がありますので、それに所属している種目、それからスポーツ少年団はどの種目があってどれくらいの人数がいるかということになります。鏡野、香北、大栃、その下に括弧があると思います。これが生徒数です。鏡野中学校は見ていただいたようにたくさん部活動がありまして、香北中学校、大栃中学校それぞれです。スポーツ少年団について、分数にしているのは分母がスポーツ少年団に所属している全体の数になります。ただし、保育園・幼稚園は除いています。分子は、そのうち中学生以上が参加しているスポーツ少年団ということになります。中学生以上が参加しているということは、小学生だけじゃなくて他にも地域の受け皿として余力があるのかなというイメージをもって見ていただければと。これを見ていただいたら一番の理想としては、陸上部のようにスポーツ少年団から小中高とスポーツの流れができていて体育協会に入って、というのが理想かなと思いますが、種目もばらばらでなかなか。香美市としては、これを見る限り武道とかが盛んなイメージがありますけれども、スポーツ少年団から続けてというのは種目としては少ないのかなというイメージがあります。文化部も吹奏楽部、美術、英語、書道がそれぞれ中学校にこれくらい部活動に参加していると。

最後の資料は、香美市の文化協会のリストになります。これを見ていただくと、部活動ではないけれどもダンスとか、興味があればこういう活動も香美市の中でされているという次第です。

実際、部活動の地域移行ですけれども、正直県や国のほうもぼんやりしたところがありまして、香美市のほうもどうしようかなと。教育長とも話し合っただけで他のところを真似るのではなく、香美市の現状、実状に合った部活動の地域移行ができればという話はしておりますが、まだこれから話し合いを進めていってどうするかを具体的に決めていきたいとい

うところですか。説明は以上です。

佐々木委員長

はい、ありがとうございます。ご質問・・・スポーツとか生涯学習に関わっていない方も含めての2,000人ですか。

影山班長

そうですね。

佐々木委員長

実際、社会教育の活動に携わっている方に対するアンケートというのはとってないですか。(とってない) それであれば・・・違ってくると思いますが・・・

黍原課長

今のところは考えてないです。

内田副委員長

お話を伺っていて思ったことですが、まずは課題がどこにあるかということです。お話としては生涯スポーツのあり方についてのことと、部活動の地域移行についてのことの二つのお話がありましたけれども、それぞれ課題が何かというところが非常に大事なところで、私たち社会教育委員というのは、この会の意味というのは、そういう課題をどういうふうに学習として広く展開できるかというところ、学習という言葉は硬いですが、そのことをみんなで考えあう場をどう作るかというのが社会教育の意味なので、課題がどこかというところがすごく大事になると、その先があるんです。最初の課題のところなんですけれども、生涯スポーツのあり方についての部分で言えば、運動をやっている人とやっていない人の落差が非常に大きいところが課題だと捉えていいのかどうかというところですが、今のお話を伺っていると、つまり、やっている人はやっていて、施設として充足率は満たしているんだけど、今回のアンケートをいろいろ考えていくと、どうもやっている人とやっていない人が極端に分かれているということが推測できて、そこに課題がある。もう少し言うと、やっていない方たちにどういうふうに運動やスポーツと出合う機会や(かんきょうけん?)というものを考えてもらうとか、そこに結び付けるためのいろんな学習ですね。お祭りをやってもいいし、いろんなことをやってもいいんですけど、そこに課題があってそこを私たちが検討する必要があるというふうに見るのかどうかというのがひとつの大きな・・・なんです。

それから二つ目の部活動の地域移行についての課題はどこにあるのかと考えると、課題というか、最後におっしゃった香美市ならではのやり方をどういうふうに先駆けて作っていくか、変な言い方ですが、つまり地域移行というのは100パーセント、1か0かではなくて、徐々にとか、できるところからとか、そういうふうに変ってきているわけなんですけれども、一気にというふうにはいかない、しかしできない現実もある中でそれぞれの状況で工夫して考えてくださいという流れになっているわけです。その時に香美市として何が

できるか、香美市としてのあり方をむしろ出していくと考えた時には、私たちの委員会というのは社会教育の委員で、そういうことを住民の人がみんなで考えあうような環境を醸成するというか、場を作るというか。これまでも協議会は開いてきたわけですよ。教育委員会で話されたことってちっとも住民の方には返されていないし、関係者で話してきた。結論ももちろん出ないし、そこで止まっている状態なんですけれど、もっと部活動の地域移行という問題あるいは地域スポーツというものを・・・全体に広げていくためのフォーラムとかシンポジウムとか、あるいは関係者の意見交換の場とかそういうものをたくさん生み出していく、条件を整えていく、こういう提案なら私たちの委員会としてはできるわけですよ。その話をどこに課題があるのかと考えると、要は香美市らしさとか、香美市らしい移行のあり方、移行なのか協働でやるのか、よってたかってとっているわけですから、そういう場にスポーツのことについても考える機会を設けてみるとか、それでそこで終わりじゃなくてそこで実際に活動している人たちが私たちもこんなことができるとか、あんなことできそうとか、そういう機運が盛り上がるような社会教育活動、環境整備、条件整備というところを・・・そういう話かなと思いついて伺っていたんですね。長くなって恐縮ですが、この委員会で協議することは結構たくさんあるし、結果としては課題をどうやって話し合うような場を生み出していかという、そういうことが大事なんだと思った次第です。

佐々木委員長

はい、ありがとうございます。

では、先によってたかって生涯学習フォーラムについて説明をいただいて、その他の中で意見をいただきたいと思いますので、2番のよってたかって生涯学習フォーラムについて説明をお願いいたします。

濱田推進官

それでは資料にまとめておりますので、ご覧ください。まず、よってたかって生涯学習フォーラムの位置づけについても一度整理をしております。このフォーラムがどこに位置づいているのかというところで、調べてみました。そうしましたら、みなさんご存じの香美市教育振興基本計画（後期）のはじめの部分に、香美市では、保幼から大学までである「まち」として、学びの連続性を大切にしながら、「まちづくりは人づくり」という考えのもと、教育を中心に据えた「まちづくり」をめざしてきた。その過程で、市民一体となって取り組む「よってたかって教育（よってたかって地域が育てる教育）」という概念が生まれ、市民・行政が一体となって、地域の教育力の向上、生涯学び続ける「まちづくり」を進めてきた、と。その下に香美市よってたかって教育とは、香美市の「めざす人の姿」に向けて、香美市民が“よってたかって”みんなに関わり合い、みんなが高め合いながら、香美市を元気にする教育活動というふうに明示しております。それを具現化したのが“よってたかって”生涯学習フォーラムだと。こういうことに、生涯学習フォーラムというのは、ただの生涯学習の振興の祭りではなくて、いわゆる香美市をみんながかかわってみんなが高め合いながら香美市を元気にする教育活動、その具現化をしたものだということを改めて整理をしたところです。そこで、私たち担当としましては、生涯学習フォーラム

をどういった形で、これまでの成果と課題を生かしながらどういう方向にもっていくかというところで、新たな提案をさせていただきたいと思います。

まず、生涯学習フォーラムの目的は、香美市は保育園から大学、特別支援学校まで、すべての校種がそろった学園都市！25,000 人余りの市民が、それぞれの教育機関、それぞれの生涯学習の場で、豊かな学び、楽しい活動を繰り広げている。この貴重な取り組みを互いに交流しあい、学びあい、高めあわなくてはもったいない！そこでこれからの香美市の教育を市民に周知する場を設け、教育への関心を高めあうとともに、市民間のつながりを育むことを目的に、舞台発表あり、学習や体験の場あり、啓発活動あり、販売活動、なんでもありの「元気なまち香美市 よってたかって生涯学習フォーラム」を開催する、というこの目的は、このまま継続させていただきたいと考えております。

2 番目にあるのは実績でございます。第 1 回は上村委員さんが事務局のほうで中心になってやったださっております。2,600 人というのは、この当時香美市の人口が 26,000 人くらいでしたのでその 1 割がということで、高知新聞にも掲載されました。第 1 回はそういう形で山田高校を会場に、参加団体 48、2,600 人が参加しております。第 2 回はさらに増えておまして、第 3 回からはコロナのために中止をし、今年久しぶりに 2 月 17 日に 3 会場にて開催し、参加人数は 1,803 人です。それらを踏まえて、今年度は第 1 回の目標にかえりまして、今の人口がおよそ 25,000 人ですのでその 1 割の 2,500 人を集めようと。参加団体につきましては、第 1 回の 48 団体を大きくして 50 団体、2,500 人の集客を目指しております。

次のページをご覧ください。ここからは令和 4 年度のフォーラムでのアンケートの集計結果からまとめたものです。アンケートの結果は、目的に書いておりました「香美市の教育を市民に周知する場を設ける」「教育への関心を高めあう」「市民間のつながりを育む」この 3 つの目的別に、それに関係するところを成果と課題ということで同じような意見がございます。それをまとめたものでございます。①の香美市の教育を市民に周知する場を設けるという目的につきましては、「よってたかって生涯学習フォーラムの趣旨がよくわかる催しだった」とか「香美市のよってたかって教育を体現し、他の地域にはない稀有かつとても良いイベントだと思う」とか、「プログラムがしっかりと組まれていたので、予定が組みやすく、たくさんの来場者が聞きに来てくれた」などいわゆるこの目的に沿った感想が数多くありました。課題としては、「さらに多くの市民が参加してくれるよう PR の方法を検討してもらいたい」ということが上がっております。②の教育への関心を高めあうというところでは、成果として「バラエティーに富んだ催し物があり、とても楽しかった」とか「各教室の企画が大変興味深いもので、ゆっくり学ばせていただいた」とか「子どもたちの学習のまとめの場、成果発表の場となった」それから新しいところだと思いますが「俳句教室を実施して、30 人以上が参加した」ですとか、「美術館での開催は美術館を知ってもらい良い機会となった」とか、それからワークショップも新たに立ち上げたようで「新しい学習の場を提供できた」というような成果があり、教育への関心を高めあうような場になっているようです。その際の課題としては、「ワークショップの認知度を上げるために、ICT やネットワークを活用する必要がある」とか「スポーツ教室の参加が少ないように感じたので中学校の部活等に声をかけるとよいのではないか」とか、体育協会のスキー部は参加して下さったのですが、「それ以外の体育協会のほかの団体も参加する方向にしてはど

うか」とかそれからこれが大きなところなんですけれども「子どもの発表はもちろんだが、大人自らが自分の学びとしてフォーラムに参加する」こういったことが大事じゃないかということで、私どもも教育への関心を高めあうところでは、特にこの大人自らが自分の学びとしてのフォーラムに参加する、というところに力を入れていきたいと思っています。

③の市民間のつながりを育むという目的に対する成果と課題については、「様々な人たちが関わるイベントでよかった」とか「幼児から小中学生、高校生、大学生、一般の大人も含めて楽しく体験できた」とか「小学生が山田高校に足を運ぶということは、以前では考えられなかったことで大変良い経験となった」とか最後に、凸版印刷の方の意見だと思いますが、「前例のない経験となり非常に有意義な経験をすることができた」という感想も聞かれて、これは新たな市民のつながりができたものだとして感じております。それからこの課題ですが、「地域の方々や小学生と交流できたのはよかったが、中学生がもう少しイベントに参加できたらよかった」とかあとの4つにつきましてはプログラムが重複したりということがあるので、できるだけ他校の発表が見に行けるようなプログラムにしてほしいということで、これは技術的などところで検討してまいりたいと思っております。

その他のところとしては、「食べるものがあるのはうれしかった」とか遠くからお見えになる方は「駐車場の点で配慮してもらいたい」とか、新しい観点では「カミカが使えるお店があってもよかったのではないか」ということで、カミカというのは香美市特有のものなのでこれを盛り上げるのもフォーラムの一助になるのではないかと考えておりますので、フォーラムが香美市の活性化の一助になるとも考えておりますので、このカミカについても考えていきたいと思っています。

それらを基にして4番、今年の改善・強化する視点を PPT プロジェクトと勝手に正木と濱田で考えてまとめております。まず一つは PR、広報です。広報はチラシ等の配布先の検討もさることながら、写真や動画、最近ではビジュアルコミュニケーションといいますが、単なる文字ではなくて、写真や動画を介したコミュニケーションが若い人の食いつきがいいということもあり、こういったもののあり方を検討したり、それから SNS の活用です。SNS は女性の7割がインスタグラムを見ているようですし、男性はツイッターをよく利用しているようですので、こういった SNS を活用しながら幅広く広告をしていく、それから香美市にいるのかどうかわかりませんが、インフルエンサーという SNS を使いながらアピールをしている、そういう方々に協力を願ってもっともっと広報できないかと思っております。企画、プランのほうでは、多くの参加者が集まれるイベントですとか、新しい学習の場の提供、これは公民館、美術館、図書館、体育協会等との連携を強化いたしまして、今までにない新しい学習の場を、どんどん活動して下さっている方々にやってほしいなど。それによって大人自身の学び場も作れるのではないかと。子どもの発表の参観から自分自身の学習の場への転換、そういったことに大きく切り替えていく。そして同時に大人だけ子どもだけが学ぶのではなく、よってたかってですから大人や子どもが共に学び合う場、そういうことにも注力しながらやっていきたい・・・というのが二番目です。

三番目はターゲットです。中学生の参加促進が大きなことです。高校生は山田高校を会場にしておりますし、小学校も参加しておりますので、特に山田町内の中学校ということで鏡野中学校の参加を一層促していきたいと考えています。それから、体育協会所属の団体やスポーツ教室への声掛け、凸版印刷高知営業所のような企業の発掘によって、新しい

学びというものを市民の方々に提供できたらなと思っております。この、広報・企画・対象、このPPTプロジェクトを改善・強化する視点にしたいと思っております。

今後の方向性といったしましては、よってたかって生涯学習フォーラム充実のためのPPTプロジェクトの実施としまして、新たな委員会、新たな会議を立ち上げたいと思っております。まず一つが、子ども企画委員会、広報委員会、企画会議です。全体で戦略会議と位置付けておりまして、組織図については正木からご説明させていただきます。

子ども企画委員会では、以前子ども会議というのをやっております。子ども条約のこともあり、子どもの意思表示だとか子どもの意見を聞きながら、子どもたちも一緒に参画するということが大事だと思いますので、小中高、特別支援の児童生徒に、大学生のサポーターを加えまして、子ども企画委員会を立ち上げたいと考えております。

それから広報委員会は、SNSとかビジュアルコミュニケーション、そういったものを活用したPR方法の提案するための広報委員会を新たに立ち上げます。子ども企画委員会の代表と広報委員会の代表を踏まえた企画会議を実施し、新しい企画の提案とか新規参加者の開拓のための会議を設置したいと考えております。

次のページをご覧ください。ここからの具体的な話は正木のほうから話しをさせていただきます。

正木推進官

先ほど濱田推進官から説明があったものを図にしたものです。左の戦略会議のところ、子ども企画委員会、広報委員会でいろんな案を練りまして、子どもたちの意見を集めて、あるいは広報委員会からどういう宣伝をしたらいいかという案を集めてそれを企画会議に上げようと考えております。企画会議は、子ども企画委員会の代表と広報委員会の代表を含めて、大人から子どもまでが属した企画会議になっております。こちらの企画会議で練り上げたものを、本委員会、社会教育委員会に情報共有しながら、ご意見をいただきながら、最終的には実行委員会、昨年度の実行委員を基に決めますが、ここで最終的な決定をいただくということになっています。また参加する団体等には周知会をしっかりと開催して当日に向けての準備等をしていただくことになっております。2月17日（土）が生涯学習フォーラムの実施日です。昨年度は（飲食できる）会場が山田高校のみでしたので、飲食の部分で今年度は数を増やしたいと考えておりまして、ふらっと中町とかそういったところも活用させていただいて場所の提供、参加者の増加を図りたいと考えております。組織的な説明は以上です。今、委員をあたっているところですので、香美市のインフルエンサーをご存じの方がいたら教えていただきたいし、若手でこういった人がいるので意見を聞いたら役に立つという方がいたら教えていただけたらと思っております。

次にスケジュールになりますが、本日この社会教育委員会で方向性の提案をしていただいておりますが、戦略会議、子ども企画委員会が7/29、委員の募集は6/12にスタートしたいと思っております。小中高の主に子どもを集めるわけで各学校からの代表、あるいは公募をしたいと考えておりますので、香美市のホームページとかそんなものを使って、一般（子どもの）、例えば香美市の中学校に行っても香美市から高知市の中学校に行っている子どもでも構いませんので、そういう子どもたちからも応募して香美市を盛り上げるイベントに参加してもらいたいと考えているところです。参加団体の受付は9/25から1か月強く

らい受付をしようと考えています。現時点で考えているスケジュールは以上です。良い案がございましたらいただきたいと思います。以上です。

佐々木委員長

はい、ありがとうございます。もう既にできあがっていますね。ずいぶん違う・・・新しい・・・

濱田推進官

提案でございますので、大所高所からご意見をいただいて練り直す・・・

佐々木委員長

令和4年度の3会場は？

黍原課長

かみーる、美術館、山田高校です。

佐々木委員長

ありがとうございます。何かこれについてご質問は。

上村委員

出発のフォーラムをした時の、まず、濱田先生が以前のデータをよく調べて言葉もすごく落とし込んでいるなど本当に感心しました。さすがだと思いました。第1回目のフォーラムを山田高校でやった時は、これの発端は香美市の教育振興基本計画ですよ。香美市の教育振興基本計画をいかに市民に周知をするかというところから始まったもので、登壇者を5名くらい子どもとかもそうですが、大人にも登壇していただいてそこでディスカッション形式の場をもったりもしています。結構まじめなものの中に入れてながら、振興基本計画の周知をそこで図っていったというのをすごく、この前のように思い出されます。今回、来年度に向けて振興基本計画の大幅改定をしています。ちょうどその時期なんです。2月のこの時に、次の年からこういうのが始まるよというところの大枠でも紹介をするようになれば、すごく大きな変化をつけていきながら今のと違うスタイルのフォーラムができるのではと思います。一人でも多くの方、ここは1割2,600人というのは本当は数えてないです。新聞社に目標の1割来てますよと言い切ったら、そのまま2,600人と書かれて終わっちゃったんです。でもこれくらい来ていると思います。後あと残る大事な数字になるので思ったんですけど。自分の頃は、振興基本計画というものをしっかりと位置付けていくということが大事、事務局サイドから言えば大事なポイントだと思っています。

佐々木委員長

はい、ありがとうございます。

内田副委員長

今の上村先生に非常に関連することですが、最後におっしゃった事務局サイドとしてはそれが大事とおっしゃったところですが、例えば 2 ページ目の①～③とありますが、これは順番ではないけれども、振興基本計画を周知することが第一の目標になりすぎるとそれでいいのかなという気がします。そう考えてこの①～③というのは、実は③ですね、市民間のつながりを育むとか、初めて会う人がたくさん増えるとか、これが非常に大事なところであって、いろんな人が意見を出し合っているいろんなことをやっているんだということがあってそのことを香美市は教育と呼ぼうとか、②のところですが、教育って単に学校教育で先生が教えることだけが教育なんじゃなくてもっとみんなで学び合ったりつながりしてあだこうだ言い合うのが教育なのよねっていう、教育についての関心が広まったり高めあっていくのが②にあって、・・・そういうことを振興基本計画では謳っているのねっていうか、香美市はそれを大事にしているのねっていうふうに、この順番ですけどやっぱつながりが大事でそれを教育と呼ぼう、そういう教育を香美市は目指しているんだというような感じで市民と一緒にやれるような発想が大事なのかなと思って伺っていたんです。事務局としては振興基本計画をわかってもらう、周知するっていう、それは非常に大事なんですけど、それがあまり最初に出ちゃうと、アンケートなんか最初に取った時に、・・・あんまりおもしろくないアンケートになっちゃうので、それはむしろ最後なんだっていうふうに社会教育委員の会ですからあえてそういうふうに考えたいと・・・①②の順番というか、重きの置き方というか、そういうのって実行委員会を開いていく際にも、戦略会議ですよ、そういう会議を開いていく際にも当然説明しないとイケないですから、この主旨は何で、フォーラムの狙いはどこにあるのかということの説明するわけですから、案外こういうところが大事で・・・というのがあります。

佐々木委員長

はい、ありがとうございます。第一回の生涯学習フォーラムから見てきていますが、次第に・・・(永野さんが中心になって参加してくれていたのは、どういった形での参加ですか。

宇根班長

参加は、片地地区の PTA として出店して下さっていました。

佐々木委員長

そこは、組織化されているわけではないですか。福田さんが度々言われるまちの先生ですが、そこにするとハードルが高くなってなかなか難しい、そうじゃなくて永野さんが言われていたのがよってたかって応援団のような形で、各小学校区の PTA がいろんな形で集まれて、よってたかってフォーラムで焼きそばを売るとかいうことをしながら親交を深めながらなおかつ子どもたちが参加できるという風な、今はそういう形でやっていると思うのですが、そこはそこでどんどん発展をさせていただいて、特に教育委員会でバックアップもさせていただいて、拡大してやっていただけたら人も来ていただけるのかなと思います。やはり子どもさんを入れるというのが非常に有効な、後あとへ残っていく・・・これについては協議・・・よろしくお願ひしたいと思います。

宮地委員

昨年、フォーラムで大根を売らしてもらいました。特別支援学校にも、事前に言ってもらったら栽培計画ができると思うので。あとできるだけ一般市民の方を呼び込んで購入してもらえたら・・・。文化協会で・・・俳句教室が好評で子どもが離れなかった・・・

上村委員

店の、学校から出店するとき、大栃と片地、大栃は焼きそばで出すものがかぶっていたんですけど、片地はさらに買いに行ったんです。それくらい少なくなった。場所的には、スペースはあるんですよ。小学校が、なんとか祭りといっているいろいろやられているので、ノウハウをかなり持っています。日曜市で子ども祭りというのをやったことがあります、その流れの中でどこもができるようになっている。ただ PTA の活力がなくなってきているが、片地さんはなかなか強いですね。テントをいくつも張ってやってみましたから。うどんからそばから・・・

宮地委員

PTA の会長？を選ぶのに 4 年 5 年 6 年が立候補します・・・大体結論は 6 年になるんだけど、神母ノ木の大川祭りもしかり、工科大のイルミネーションもしかり、佐岡もしかり、すべてに出て行って、昨日もやりましたよ、佐岡の豊穰祭・・・本当にどんどんやっていますね。

佐々木委員長

ぜひそこを、今日は欠席されていますが・・・ぜひ声をかけていただいて・・・

上村委員

他の学校なんですよ。今まで出てきていた学校が、去年は出てこなかった。

宇根班長

何年かできてなくて、ご連絡をいただいたところもあります。

宮地委員

・・・香長がほとんど苗が・・・今年は・・・時期をずらして植えているから・・・

佐々木委員長

子どもを呼んでいただいたら、必ず親がついてくるので・・・

上村委員

要は、コロナの関係で保護者の活力がだんだんと、横のネットワークが薄れているところがあって、今度 P (PTA) のほうの香美市のスポーツ大会なんかが香北でもあるんですけど、そういうところで見てもなかなか人の集まりが弱くなっている、大栃ですら弱いんです。

6月18日に香北のBGの体育館でやります。体育大会なのですべてのPTAが集まりますので委員会のほうから、たぶん田村さんが話をすると思いますが、そういう時に広報をちょっと入れてみるとか、学校も横のつながりをいろいろなこういうフォーラムとか含めて作ってってもらいたいというのが本音です。学校だけでこうやってやるので集まりまじょうじゃ、なかなか集まらないご時世になってきているので、みんなで一緒に作り上げていくというところを、一緒にやったら結構楽しいのでみんなやってくれる。学校の中でも、この前学P行事をどうしようという「もうやめないか」という人もいたが、実際やってみるとみんなすごく喜んでくれた、そんな状況です、学校の保護者関係は。ぜひいろいろな場で呼びかけていきながら活力を取り戻していけるようにできたらと思います。

佐々木委員長

はい、ありがとうございます。ぜひ横のつながりを・・・

?委員

僕も先週、中国四国九州地区の社会教育の・・・交流会に参加して、各地で子どもから大人までの生涯学習のいろんな試みをした実践報告会を聞かせていただいて、手弁当で集まっているんな交流をしていこうという会だったのですが、社会教育は人と人とのつながりが一番大事で、それをつないでいくのが社会教育であるしそういうものだと思っています。将来的には地域を愛する子どもたちを育てることによって、地域に子どもたちが帰ってくる、それが一つのまちづくりにもなっているのではないかと考えておりますので。ちなみに、・・・参加者の年齢層というのは・・・

宇根班長

アンケートが返ってくるのは大人の方からですが、参加は保育園、幼稚園の子どもさんから、文化協会だと高齢の方まで、年齢層の幅は広いです。

?委員

高齢化が進んでいるので、やっぱり若い人にも焦点を当てた形にしていかないと、今の子育て世代をしっかりとつかんでいかないと、香美市の発展につながっていかないと・・・そのあたりの企画も大事じゃないかなと思います。

佐々木委員長

はい、ありがとうございます。

中越氏

昨年初めてこのフォーラムに参加させていただいたんですが、人が多く集まるようにというところで、提案をしていただけますので?本校としては非常にうれしい限りです。山田高校の生徒の成長度合いとか実態を多くの市民に見ていただきたいので、中学生を含めて多くの市民の方に見ていただいて、本校に来ていただいてまた地元に戻っていただく形が取ればなと思いますので、より多くの方に来ていただければと考えています。よろ

しく願います。

佐々木委員長

ありがとうございます。

濱田さんが校長でおいでた時にどンドン外へ広げてくれたので、それまでは山田高校は入ってはいけないところだったので・・・ここは教育現場だから一般の方は入らないでください、っていう形でずっと来ていたので、いきなり門を開いてどうですかみたいに言われても「え、入っていいの」っていう、そこからスタートだったのでなかなか大変だったと思います。ここまで形になってきたので、ぜひ発展させていただきたいと思います。

内田副委員長

中学生の参加促進というのは、何か考えていらっしゃるんですか。

正木推進官

先ほども申し上げたように、土佐山田町の中学校さんが吹奏楽の参加をしてくださっているのですが、それ以外の探求の発表会であったりとか、そういうところに今までは参加がなかったものですから、それだけじゃなくて親御さんと一緒に物を売るでも構わないので、そんなことができたらずひ参加していただきたいなと思っております。新たなものやってくれということではなくて、やれることをやってくれということと呼びかけようと考えています。

内田副委員長

中学生は忙しいですもんね。

濱田推進官

子ども会議では、確かに山高生とか高校生、大学生が主でしょうけど、中学生も十分思いを持っていますから、子どもたちの思いというか、それをかき集めることによって、きっと各学校の代表が来ますから、・・・そういうことも含めて中学生の意見を反映していく子ども会議はあるのかなと。前に子ども会議をしたときは、結構中学生が元気で、山高生も元気だったんですけど、割と生徒会活動は各学校の中では元気ですごくリーダーシップを発揮してやっている、3中学校とも、それをもうちょっと外へも出してもらう、そういうことに校長先生がたのご意見も聞きながらやらせていただけたらなど。

佐々木委員長

社会教育委員会としても後押ししますので・・・

近藤委員

スポーツの人はどういう関わり方をしていますか。

正木推進官

スキーの団体は体験できる機械があってそれでやっていたが、非常に好評で。そういったきっかけがあれば、ぜひ登録してある団体さんが来てやっていただけたらありがたいなと思います。

佐々木委員長

・・・スキー部の会長をしていますので、フォーラムを何回かやることによって、その後のスキーツアーへ参加していただける方も何人かおいでました。コロナのため、バスによる移動が制限されていましたが、来シーズンくらいからはまたバスで・・・。それから長野県とか兵庫県へスキーツアーに行っていますが、山高で体験をして「これなら滑れそうだ」といって参加される方がおいでましたので。

個人的な意見ですが、やはり生涯スポーツのあり方についてということでアンケートでは厳しい状況ですが、それぞれのスポーツ団体、体育協会に登録している団体においては、各々がいろんな活動をされていますので、決して下火になっている状況ではないです。ただ、それが皆さんの目に映るところがない、例えばスキー部で言えば、ツアーでバスで行っても誰も知らない、広報でツアーの参加者を募集したりしますが、あまりにも人数が多くなって世話が難しいということで、一時期は80人、バス2台で行っていましたので、その6割7割が香美市の方で・・・ただ、各スポーツ団体では・・・いろんなことをやられているので、決して香美市の生涯スポーツが下火ではないということを皆さんに把握してもらって・・・。

弱いのは、全体的にコーディネートするその部分。それを必要とするのがこのフォーラムなので、普段の活動ではそこはあまり必要とされないの、必要とされるこのフォーラム、ぜひ様々なご意見をいただきながら発展させていただければと思います。

近藤委員

スポーツ団体が行われている一覧みたいなはありますか。

佐々木委員長

体育協会の一覧表はありますよね。

影山班長

お渡しした資料の数字が入っているところが体育協会（所属の団体です）

黍原課長

この中に団体も・・・

佐々木委員長

（資料の説明）体育協会に登録されている人数です。こういう団体が協会の団員として活動されています。例えば、体育協会のバレー部は小学校の体育館を借りて普段から練習されていますし、ソフトボールでしたらこの間出来上がった市民グラウンドを使いながら活動をされています。その方たちにはアンケートはたぶん届かなくて、だから満足度が把

握ができてないと思うので、また機会があればそういった方の代表会もして、4 会員さんのアンケートをとれば、いろんな要望が上がってくると思いますが、それはまた・・・

上村委員

フォーラムって大柝から見たらアピールをする場なんですよ。だからわざわざバスに乗って来てまで、子どもらの発表する場としている。

例えば、スポーツの団体や文化的な団体というのも大会的な発表の場ってありますよね。せっかくだからフォーラムをお知らせするような場にしたり、存続がかかっているところもあるんじゃないかと思うので、そういうのでうまく使っていければいいと思います。ここまでという線引きがない世界ですよ、このフォーラムは。ちょっとでも多くの方に関わってもらおう・・・

正木推進官

おっしゃるとおりです。体育協会や文化協会、それから移住の方であるとかかみめぐりの方もおいでになりますよね、ぜひそんな方に声をかけていただいて参加をいただければ。今、会場が、山田高校、ふらっと中町、それから公民館も押さえています。ですから分散して開催して、人的な問題もありますが協力をいただきながらやりたいと考えています。またお声掛けをよろしくお願いいたします。

宮地委員

文化協会としては、短歌と俳句の入選作品を展示したり、俳句教室をやっています。

佐々木委員長

文化祭の発表や展示は中央公民館を使ってやるのが 11 月ですか。

宇根班長

文化展の展示部門は 10 月 21 日～22 日にプラザ八王子で、公民館を利用してやるのは芸能部門が芸能大会としてやります。

佐々木委員長

フォーラムと、文化展・芸能大会を別のものとしてやるのが今の方針ですよ。

宇根班長

文化展と芸能大会は、芸術祭実行委員会ということで文化協会が別の団体を立ち上げてやっている事業になります。

濱田推進官

よかったらそういう団体の中で再度写真展示だとかいうことをやっていただけるんだしたら一緒に 2 月にもう一度やっていただいて、そういうふうにしていただくと盛り上がる。

佐々木委員長

体育館でもできますもんね。今までの既存のそういう大会とか。よろしくお願ひします。子どもさんの委員を募ってというのはいつ頃になりますか。

正木推進官

夏休みにやろうと考えています。6月12日に校長会がありますので、その時に披露して正式に募集をしたいと思ひます。

佐々木委員長

子どもさんの委員というのはすごい展開になるので、予算とかまったく関係ないので、とんでもない意見が出てくるんですけど、・・・泰山公園の子どもの広場の遊具、あれは子ども委員さんが選んだんですが、もう既に20年前ですが、小学生中学生の子どもさんで8人くらいの委員会を作って子どもの意見をすべて採用しましょうということで、メーカーからプレゼンに来てもらって、滑り台の中を滑る感じとかふわふわドームとかいろんなことを提案していただいたんですが、子どもさんがこれとこれとこれがいいというメーカーが全部違うんです。それでも形になれば子どもっていうのは、あれから20年経ちますけど、いまだに順番に順番にバトンタッチをして遊んでくれていますので、お金も要りましたけど、そういう子どもさんの意見というのはぜひ大事にしてあげたら。後へずっとつながっていきますので、たぶんその頃委員で選んでいただいた方は、子どもさんを連れて泰山公園で遊んでくれている年代になっておりますので、ぜひそういうふうにしていただけたらいいかと思ひます。

他には何かありませんか。

上村委員

部活移行のことで、学校から見たときに、教員の働き方改革から来ているので・・・やり方は都市型をイメージしているので地方がやりにくい部分があると思ひますが、考え方はヨーロッパやオーストラリアでやっている社会教育の生涯スポーツという観点から非常にいい考え方だと私も思っています。そういう研究もしたことがありますけど、聞きたいのは0か100の話ではなくて、できる競技は何かということです。いっしょくたにやってしまうからできないけど、例えばこの競技は香美市で育てていきたい競技だからこの競技はつなげよう、例えば中体連高体連で出しているじゃないですか、せつかく少年でやっている、大人もやっているのに、この中体連高体連の間だけ学校のほうへ抜きますよね。これはすごく大きな組織なので、非常に強い組織ではあるけれど、そここのところをつなげて生涯教育の観点で生涯スポーツの観点で育てていくような種目があるのであれば、そういうものを大事に作っていくという考え方もあるんじゃないかなと。例えば、ソフトテニス非常に強いところがあります。けれど子どもの数が少ないです。少ないけれど小さい時からずっとソフトテニスをやっていて、指導者も卒業して中学校・高校を卒業して、指導にまた入ってくるので本当に強い。それがいいかどうかは別にしても地域が大事にしている競技だから、と自分は思っています。そういう捉え方もあるんです。0か100かじゃなくて、1とか2でもそういう競技があれば学校は助かるところがあるんじゃないかと思ひます。

そういう見方はされているか、こんな競技はやりやすいよ、できるかもわからない、というところがないのかなと・・・

影山班長

そうですね。競技自体もこれから検討していかないといけないと思いますが。個人的には香美市は武道が盛んなので、剣道は剣道錬成大会もありますので、そういった主になる種目があればいいのかなと思ったりもします。大栃中学校は剣道はないですか。

上村委員

道場はありますけどもう今はないので、うちは部活の数を減らしているので働き方に影響はしていません。一つの部活に三人体制で組んでいるので、入れ代わり立ち代わりで大丈夫ですが、鏡野中学校さんは減らすことができない状況なんです。であれば、どういうふうに考えるか、香美市で鏡野にあるから大栃になくてもいいんじゃないかと思ったりするんです。香美市の中にあれば。できるところを進めていくという考え方もあります。

佐々木委員長

はい、ありがとうございます。

今日の会議の中で何でもいいですがご質問があれば・・・早いけど終わっていいですか。今日は結構いろんな意見が出た、またまとめていただいて次の委員会で途中経過をお話ししていただければいいかと思えます。・・・他にないようでしたら、以上をもちまして令和5年度第1回香美市社会教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

(閉会)